

たまたれ

通巻 第22号



社号塔

社号塔竣工によせて

宮司 竹間 宗磨

永年の懸案でありました高良大社社号塔が、高良山々麓西、都市計画道路東合川野伏間線開通に先立ち、新道の交差点に竣工しました。

御崇敬の皆様からの真心からなる篤志奉贊を頂戴致し、旧曆二十六日に地鎮祭斎行、嚴冬期間に拘らず工事関係者の御尽力戴き、本年三月二日に竣工祭を迎えました事を厚く御礼申し上げます。

時、正に東京スカイツリー竣工と同日のことでした。この社号塔は、参拝道の案内ののみならず、毎夜明かりが灯り、高良大神様の御神威發揚と皆様方を照らす安全繁荣の「ともし火」としての願いを込め、建設を進めて参りました。

新道の開通など山麓も様変わりしました折、当社ではこの秋十月十四日に神幸祭御巡幸を計画し準備を進めております。平成四年の御神期大祭より二十年ぶりに大神様には山をお下りになられ、麓の様子を御覧戴きます。皆様には御協力、御参拝を賜りますよう切に御願い申し上げます。

また今月は、筑後に夏の到来を告げる川渡祭がございます。皆様の御参拝をお待ち申し上げております。



茅の輪くぐり



●茅の輪守（上）
●へこかき守（下）

川渡祭の特別なお守

六月中授与

六月中受付

川渡祭には還暦・厄年は元より
家内安全・諸願成就の祈願を受付
ております。

赤い肌物を身に付けて昇殿いた
だき、御祈祷を奉仕、特別祈願
札をお受けいただきます。

川渡祭にお参りすると昔から高良大神様の御神
護を普段に増して授かると伝えられます。茅の輪
をくぐり、御祈祷を受け、更なる幸福の縁に結ばれ
ますよう御案内申し上げます。

茅の輪くぐり神事

六月一日・二日の両日、午前七時
十一時・午後二時にお祓いを受け、
神職と共に茅の輪をくぐり、心身
を祓い清めて、無病息災を祈ります。
茅の輪は一日の午前七時のく
ぐり初めより十日（日曜日）迄、ご
自由にくぐる事ができます。

川渡祭（へこかき祭り）

六月一日・二日

〔祈願種目〕

●厄年祓
●交通安全
●子宝恵授
●初宮詣
●学業成就
●受験合格

●家内安全
●商売繁盛
●安産子育
●七五三詣
●個人五千円以上

●傷病平癒
●諸障退散
●還暦算賀
●商売繁盛
●安産子育
●七五三詣
●団体一万円以上

※その他願意も御相談下さい
※祈願初穂料



祭事のご案内〔六月～十月〕



◆川渡祭（へこかき祭）

六月一日～

二ページご参照下さい



◆夏越大祓式 六月三十日

日々生活している中で、知らず識らず犯した過ちや罪穢れを、紙で作った人形に移し、心身を祓い清める神事です。暑い夏を無病息災に過ごせるようとの祈りも込めます。

◆愛宕神社夏祭 七月二十三日

愛宕神社は、火防の神として広く信仰されております。当日は氏子崇敬者、多数の参列の上、火伏せ、火難除けの祈願祭を致します。

◆奉納書道展 七月十八日～

（本坂）両脇の灯籠に灯りとともにす

坂）両脇の灯籠に灯りとともにす
点灯式。御神慮を和め献灯奉納
者の安全や事業繁榮を祈念します。

◆献灯祭 八月一日



◆剣道大会 九月二十三日

久留米市内各地の、多数の中高校より剣士が参加、境内特設の道場にて学年別に竹刀を交え技と力を競い交流を深めます。

◆崇敬会大祭 十月十日

高良大社崇敬会会員が日頃の神恩に感謝し、室内安全や商売繁盛などを祈念します。
表千家不白流の献茶式が奉納されます。

◆観月祭 十月十一日

「月神高良の神」といわれることにならい、月を愛する祭として平成三年より行わせております。琴曲や太鼓、舞などが奉納されます。境内は雅な雰囲気に包まれ、参觀者に心豊かな時間ををお過ごしいただきます。

◆例大祭 十月九日

高良大社で最も重要な祭典で、俗に「高良山くんち（ぐんち）」と



◆市恵比須社例祭 九月二十五日

石造り夫婦の恵比須像をご神体としてお祀りするお社です。商売繁盛はじめ夫婦円満、良縁成就を祈願致します。

◆味水御井神社夏祭 八月七日

味水御井神社は、水の神として信仰されております。氏子崇敬者、参列の上、室内安全、地域の隆昌を祈念いたします。又、境内には清水が湧いており川渡祭裸参りの禊の地になります。

◆獅子舞、風流などの伝統芸能や、高良山十景舞などが奉納されます。

また、前日八日には神賑の弓道大会が開かれ、境内に設けられた矢場で古式ゆかしい「百々手式」の奉納があります。

◆崇敬会大祭 十月十日

高良大社崇敬会会員が日頃の神恩に感謝し、室内安全や商売繁盛などを祈念します。

◆観月祭 十月十一日

「月神高良の神」といわれる

ことにならい、月を愛する祭と

して平成三年より行わせております。

琴曲や太鼓、舞などが奉納され

ます。境内は雅な雰囲気に包まれ、

参觀者に心豊かな時間ををお過ご

しいただきます。

言われています。神賑行事として獅子舞、風流などの伝統芸能や、高良山十景舞などが奉納されます。

また、前日八日には神賑の弓道大

会が開かれ、境内に設けられた矢

場で古式ゆかしい「百々手式」の

奉納があります。

兼務社紹介

高樹神社



鎮座地 久留米市御井町字神籠石121

高皇產靈神

(たかみむすびのかみ)

古くより高良山の地主の神と
伝えられ、地元に伝わる昔話では、
ある時玉垂命が高良山上にお住
まいの高牟礼権現に一夜の宿を
借りたいとの申し出にお貸した
ところ、山内に境界を張り巡らせ
権現は戾ることが出来なくなり、
以来山麓に住まわれる事となつた、
と伝えています。更にその張り巡
らせた結界が、数ある神籠石伝説
の中の一つにもなっています。

夏八月には氏子地域の御井町
高良山地区を子供神輿の巡幸が
賑やかに行われ、当高良大社には
朝一番にお越しになり、神職一同
高良山の氏神様を拝します。

又、社殿前の狛犬は小型ながら、
尾が大輪の菊花を思わせる特異
な型をしており、享保九龍次甲辰
五月二十四日の銘があり、筑後地
方では古いものとして久留米市
の文化財に指定されています。



狛犬

『三代実録』元慶二年（ハ七八）
十一月十三日に「筑後国高樹神二
従五位上ヲ授ク」とあり、やがて
正五位下に進んだことが天慶七年
(九四四)の『筑後国神名帳』に
よって知られています。

◆境内社　例祭　十二月十三日

古くは高牟礼権現と称され、高
良山の別称「高牟礼山」はこの御
名に因るものであります。

古くは高牟礼権現と称され、高
良山の別称「高牟礼山」はこの御
名に因るものであります。

高良山の信仰(四)方位除

方位除の信仰は、古くは平安時代には「方違え」と言い、その行こ
うとする方角が凶であると、一旦
他の方角の地に行き、更めてそこ
から本来の目的地へ向うというこ
とが盛んに行われてきました。

この方位除は大陸より伝えら
れた陰陽五行思想を基にするも
ので、我が国にいつ頃伝來したの
かは定かではありませんが、當時
の最先端の思想・哲学とも言われ
ております。近年映画にもなった「安
倍晴明」は陰陽五行思想||陰陽道
を司る大家であります。

さて、方位除の信仰は「この時
期に引っ越してするのだけれど、方
位を見てもらいたい」「家を新築
するに際しての間取りが気になる」
「来月は三月金神さんはどちらに
いますか」等々……

社頭はもちろんのこと電話等
でも問い合わせが少なからずあ
ることから、今現在でも失われて
はおりません。

その中で当社の方位除の信仰
の特色は地域性があることが挙
げられます。

多くの地域から方位の相談や
方位除の祈願の申込がありますが、

特に多いのがお隣の佐賀県杵島

郡白石町を中心とした方々です。
お正月はもちろんの事、普段で
も遠路御参拝を戴いております。

そして必ず「ほーよけさん下さい」と
申し出があります。

「ほーよけさん」とは方位除の
御神札のことであり、田や畠の土
を動かす際に必ずこの受けた
御神札を竹串に挟んでその動か
す箇所に立て御加護を祈る、或い
は家の鬼門を始め各所へお祀り
すると聽きました。

何故、佐賀の地から久留米の高
良山へ方位除の神札を受けにい
らっしゃるのか伺ったところ
「高良さんは高神さんだから」「昔
から何かあつた時は高良さんへ
と言われているから」と、おつし
やられます。

杵島郡から北東の方向即ち表
鬼門の方角に当社があり、方位除
に家相では重要な鬼門を抑える
高良大社の大神様に対し災難
不幸を祓い無事息災を祈る強い
気持ちが当社への方位除の信仰
へと繋がったのかもしれません。

こうして高良の大神様のあら
たかな御神徳が今も受け継が
れているのです。

権補宜 松本 長人

高良大社崇敬会だより

〔平成二十四年度 高良大社崇敬会総会開催〕

去る三月五日、平成二十四年度高良大社崇敬会の総会が開催されました。現在、五百有余名の崇敬会会員の皆様方に御案内申し上げ、総会当日は約百名の会員が出席、平成二十三年度の事業活動報告及び決算、並びに平成二十四年度事業活動計画及び予算以下慎重なる審議を経て、議案は全て承認、了承されました。

尚、平成二十四年度の事業活動計画につきましては、下段に掲載しております。総会に引き続き、九州国立博物館館長 三輪嘉六



井手会長式辞



三輪嘉六先生の講演

〔平成二十四年度 事業計画〕

平成二十四年度高良大社崇敬会総会に於いて報告承認されました今年度の事業計画について御報告致します

①第二回企画研修旅行

去る五月三十日（水）に日帰りにて大分県宇佐神宮を正式参拝し国東半島の石仏等を見学して会員相互の交流と親睦を図りました

②崇敬会大祭の斎行

十月十日（水）に斎行し、大神様の神慮に感謝申し上げます

③高良大社神幸祭への協力・助勢

今秋十月十四日（日）に斎行予定の神幸祭（じんこうさい・おみゆき）への物心共々の協力及び供奉・奉迎などを助勢を行います

④旧宮司邸周辺整備工事

旧参道中腹の旧宮司邸周辺の石積みが永年の風雪により崩落しており、高良大社との協同事業として修復工事を実施致します

⑤第二回写真展への協賛

（募集要項は七頁に記載）

⑥崇敬会会員の入会勧奨

※御入会方法は高良大社ホームページを御覧下さい



平成24年度事業 旧宮司邸周辺石積工事



神幸祭(平成四年の御神期大祭での巡回)



奉納された向拝大提灯(平成23年度)

御神幸祭のご案内



今から二十年前（平成四年）に五十年に一度の重儀である御神期大祭が斎行されましたことは皆様方の記憶に新しいことと存じます。その御神期大祭に神倣い、この度毎年秋に神幸祭（じんこうさい・おみゆき）を斎行するべく現在準備中であります。

この神幸祭は

1、今春の県道東合川野伏間線開通を機に山麓の様相が変わりゆくことを高良の大神様に御覧戴き、尚且つ地域の発展と伝統文化の継承を図る

2、昨年の東日本大震災をはじめ新燃岳桜島の噴火、台風十二号また国の内外で被る災害の復興と住民の皆様方の安寧を希うという二つの大きな柱を目的指針として斎行されるもので、今秋の十月十四日（日）に一日で行われるべく、一基の神輿に高良玉垂命・八幡大神・住吉大神の神々をお遷しし、山麓朝妻に鎮座される味水御井神社にて神様の禊行を行つてから御井・山川・高良内の三校区を御巡幸の上、高良大社に御還幸となります。

神幸祭お問合せ先
高良大社神幸祭実行委員会事務局
電話〇九四二（四三）四八九三
FAX〇九四二（四三）四九三六
までどうぞ御遠慮なくお問い合わせ下さい。

①遷靈祭

御本殿にて遷靈祭（神様を神輿一基にお遷しする祭儀）
を斎行致します

発輿祭

神輿の大神様に出発することを奉告し、巡幸の無事を希望します

社頭御発輿

歴史的に見てもこの神幸祭は他に類を見ない伝統文化の上に

斎行されており、一六〇〇有余年に亘る「九州総まつり」としての威風堂々たる筑後の祭儀を皆様

②高良大社社号塔

高良大社ホームページにおいて神幸祭計画の詳細は隨時御報

③味水御井神社

方の御支援・御協力により是非とも盛大に斎行致したく存じます。

④高良御子神社

亘る渡御行列奉仕者・威儀執物所役を公募することも検討中です

⑤高良下宮社

ので、我こそは…と思われる方は是非ともお問合せ下さい。

追分交差点

矢取交差点

九州自動車道高架

⑥高良内八幡神社

千本杉

矢取

矢取

陸上自衛隊

矢取

⑦高良大社中門前

この渡御御巡幸経路は、五月末日現在のものであり、その後実行委員会打合せにより変更の場合があります。

還幸祭

御本殿にて神様を元の神座にお戻り戴く祭儀を斎行致します

⑧高良大社社号塔

御本殿にて遷靈祭（神様を

渡御御巡幸経路一覽



第一回 高良山写真展開催 出品募集のお知らせ

実施要項

- 案集期間
八月一日(水)～九月十五日(土)
- 展示期間
十月二十日(土)～
- 展示場所
高良大社社殿前特設展示場
- 表彰奉告
十一月二十三日(金)勤労感謝の日に斎行される新嘗祭にて神前に奉告の上、表彰
- 表彰内容
高良大社崇敬会会長賞 ほか

- ⑤応募点数は一人当たり三点までとします

但し、ほかのコンテストで入賞、入選した写真は除き、応募予定の無い未発表の写真に限ります

- ⑥出品料は無料とします

- ⑦版権は高良大社に帰属することとします

- ⑧デジカメ、フィルムカメラ、カメラ、モノクロを問いませんが加工・合成は不可とします

- ⑨応募はプリントのみとして、展示の都合上A4判に限定します

- ⑩他人の著作権や肖像権を侵害する行為があつたときは必ず当事者同士で解決して下さい

- ⑪応募作品は返却致しません

- ⑫展示期間中に『色落ち』などが認められたときは再度同じプリントの御提出をお願いすることがありますので御了承下さい

募集要項

- ①高良大社を崇敬される方なら性別・年齢・職業・国籍を問わず応募できます
- ②題材は高良大社に因るものに限りません
- ③高良大社及びその関係者を誹謗中傷する写真、また公序良俗に反するもの、不快感を抱かせると判断された写真は失格とします

(問合せ先)

高良大社社務所内

電話 ○九四二(四三)四八九三
高良山写真展実行委員会事務局

- ・高良大社
- ・龟屋硝子株式会社
- ・川村産業株式会社
- ・医療法人 天神会 古賀伸彦

- 〔奉職〕
田中 大輔
- 出仕見習を命ずる

- 平成二十四年四月一日

- ④初めての公募ですので、今回限り撮影時期を問いません

社号塔奉賛者芳名

社号塔建立に際して、真心からの淨財を御奉賛戴きました。芳名を掲載し、感謝の意を表します。

(敬称略・順不同)

- ・医療法人八十八会 ツジ胃腸科医院 辻吉彦
- ・津福工業株式会社 津福啓二
- ・久光製薬株式会社 中富博隆
- ・丸永製菓株式会社 永渕俊毅
- ・日商保険コンサルティング株式会社 橋本安彦

- ・飯籠 実
- ・株式会社 梅の花 梅野重俊
- ・金子建設株式会社 金子泰大
- ・株式会社 ワイドレジャー 菊池康男
- ・竹間 宗磨
- ・五拾萬円
- ・株式会社 モダン 井手武治
- ・包行 良人
- ・株式会社 築邦銀行 佐藤清一郎
- ・藤吉 計二
- ・内海 明紀
- ・株式会社 アンネ松本 松本勝
- ・久留米市農業協同組合 緒方義範
- ・黒岩公認会計士・税理士事務所 黒岩延峰
- ・参拾萬円
- ・前川 博
- ・株式会社 中島田鉄工所 中島田正宏
- ・前川 博
- ・中央製袋株式会社 赤司昌生
- ・彌永税理士事務所 彌永光弘
- ・石丸カバン店 石丸紀夫
- ・株式会社 ムーンスター 猪山渡
- ・岩崎フミ子
- ・江島粧事株式会社 江島光子
- ・大石 義明

高良山通信

- 〔責任役員交替〕
平成二十四年四月二十五日
前川 博

- 平成二十六年四月二十四日
向後、神社のためにご奉仕戴きました
亘り神社の護持運営にご尽力戴きました
深く感謝申し上げます

〔就任〕

中島田 正徳

- 平成二十四年四月二十五日
中島田正徳

〔退職〕

中島田 正徳

- 平成二十四年四月二十五日
中島田正徳

〔職員異動〕

中島田 正徳

- 平成二十四年四月二十五日
中島田正徳

〔退職〕

中島田 正徳

- 平成二十四年四月二十五日
中島田正徳

祭事報告

歳旦祭・初詣 正月

午前零時に新年を告げる太鼓が鳴り響き、多くの参拝者が神前に詰めかけました。本年は、とても暖かな正月となり新年の幸せと震災復興を祈る多くの参拝者で賑わいました。



正月社頭風景



玉替祭 宝珠みくじ授与

玉替祭

一月十日

御祭神の御神徳の表れといわれる木製の「宝珠みくじ」授与。各地の崇敬者の篤志をもお頒ちし多くの参拝者で賑わいました。



子の日の松神事

子の日の松神事

二月五日

市内上津町の本山の松苗が、同地区の大人、子供達により古式ゆかしい装束姿にて運ばれ、境内に奉納植樹されました。



大字稻荷神社初午祭

二月初午

一年で一番大きな祭、初午祭が斎行されました。当日は、今年一年の運勢を表す粥占の結果報告が神職より発表され、多くの参列者で賑わいました。

鏡開祭 一月二十一日

還暦を迎えた善男善女が、正月神前に供えた鏡餅を開き、せんざいとして参拝者にふるまいました。

琴平神社春季大祭

四月十日

琴平神社の鎮座する高良山中腹の吉見嶽は、豊臣秀吉が陣を構えた戦国時代の要所です。桜満開の中、大祭が斎行され、直会では参列者が和やかに楽しい一時を過ごしました。

昭和祭

四月二十九日

昭和天皇の御聖徳を仰ぎ、国の繁栄を祈念致しました。併せて江戸千家久留米不白会による献茶式が奉納され、境内にて、参拝者に薄茶の接待が行われました。



久留米つづじ原木群と社殿

重要なお祭りです。農業はもとより、諸産業の生成発展をも併せ、参列者は実り多き年となるよう祈りました。

鎮守の杜

今年の春は寒く、山内の我が庭の枝垂桜も例年は彼岸には開花の筈が四月に入つてからの見頃であつた。そんな中勉強と言うと聞こえがいいが東方へと足を運ぶ。道中行き帰り新幹線からの車窓越しに各地の桜を楽しませてもらう。

伺つたその大祭はお仕えする方々の厚い信仰、老若男女の寄せる気持ちがひしひしと伝わり、準備から大祭・片付け・直会と一連の中に身を置かせて頂きながら、「ドキドキワクワク」と胸高鳴り、有難く楽しくて楽しくてたまらない。感激まり幾度となく涙をこぼした。

来るこの秋の当社の御神幸祭も地元を始め御崇敬の皆様と共に、かくお仕えしたいと祈る思いになりました。

山麓の道路が開通。高速道路からのアクセスが便利となりました。この夏帰省の折にはふる里高良山へどうぞ御来山下さい。

(長)

「たまたれ」 通巻二十二号

平成二十四年六月一日発行

発行者／高良大社社務所

福岡県久留米市御井町一一番地
電話〇九四二一四三一四八九三
FAX〇九四二一四三一四九三六

祈年祭

二月十七日

建国を寿ぐ祝詞を奏上後、巫女による「浦安の舞」を奉奏し皇室国家の弥栄と崇敬者の安泰を祈りました。

古代より農耕と共に歩んできた日本人にとって五穀豊穣を祈る重

山川招魂社春季大祭

四月三十日

高良山の麓、茶臼山の山川招魂社にて春季大祭が斎行されました。参列者各々が英靈に対し感謝の心を捧げました。